

【大学のスポーツ資源を活用した地域振興の可能性】

生涯スポーツ実践センター協力者会議

鹿屋体育大学で2月7日、令和元年度生涯スポーツ実践センター協力者会議が開催されました。同会議は健康づくりや生涯スポーツの普及・振興を目的として、専門知識を有する学識経験者の方々から広く意見を求めるため、毎年1回開催しています。

鹿屋体育大学では、大学と地域の連携が求められている社会情勢を鑑み、国立唯一の体育単科大学として、研究・教育だけでなく、大学スポーツを通じた地域貢献への取組が近年活発になってきています。会議では「大学のスポーツ資源を活用した地域振興の可能性」をテーマに、スポーツ庁参事官（地域振興担当）の増井国光氏より「大学スポーツを通じた地域振興への期待」、日本航空株式会社総合政策センター地域活性化推進部・マネージャーの大槻政直氏より「武道ツーリズムへの取り組みと可能性」、大阪大学教授の富山浩三氏より「大阪体育大学の社会貢献事業」、株式会社スポーツリンクアンドシェア代表取締役の川前真一氏より「大学開放型スポーツイベントへの取り組み～事例報告～」の演題でそれぞれの立場から事例報告が行われました。大学が商店街を巻き込んでクーポンを発行し、収益を上げている事例等もあり、大学と地域とが連携して地域振興の好循環を生み出す仕組みづくりについて、改めて考える貴重な機会となりました。



（公益財団法人 鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団 月報 「蒼天」(平成2年3月号) 掲載記事